

あなたは『さいご』に何を伝えますか？

東大阪市
花園出身

池 永 昌 之

淀川キリスト病院 緩和医療内科主任部長



東大阪市
長瀬出身

いのせ かつみ

ファイナンシャル・プランナー / 生活経済ジャーナリスト

ENDING DESIGN

人生の終焉をデザインする

医療デザインサミット2025 in 東大阪

2025年11月9日(日) 10:00~18:00 | 大阪樟蔭女子大学

主催: 一般社団法人 日本医療デザインセンター 特別協力: 東大阪プロジェクト 後援: 大阪樟蔭女子大学、東大阪市

東大阪が生んだ、ふたつの輝く星

— あなたに届けたい『さいごの授業』

「ENDING DESIGN - 人生の終焉をデザインする」は、医療・介護従事者が自身の死生観を深め、共有し、患者や地域住民にも広げていくプラットフォームを創出します。死についてオープンに語り合う文化を育み、一人ひとりが自分らしい最期を迎えるための地域モデルを東大阪から発信します。

“死ぬまでに伝えたい次世代へのメッセージ”

イベントのテーマは『さいごの授業』。

カーネギーメロン大学のランディ・パウシュ教授の実話をもとに、「余命半年と知った時、あなたは誰に、どんなメッセージを残しますか？」という問いを、東大阪市出身のお二人の著名人が語る特別な講演です。

ご多用のところ恐縮ですが、まずはお申し込みいただけましたら幸いです。
そして、もしご都合が合えば、11月9日（日）に
大阪樟蔭女子大学（東大阪市）でお会いできることを楽しみにしております。



池永 昌之先生

宮崎医科大学（現宮崎大学）医学部卒業後、淀川キリスト教病院内科を経て、1993年よりホスピス科に勤務。2010年にホスピス部長、2015年より現在は緩和医療内科主任部長として活躍。日本緩和医療学会認定緩和医療指導医、日本内科学会認定内科医。日本緩和医療学会代議員、日本ホスピス緩和ケア協会理事、日本死の臨床研究会常任理事も務める。著書に「アドバンス・ケア・プランニング実践ガイド」（編著、2020）、「一般病棟だからこそ始める緩和ケア」（2009）、「緩和ケアマニュアル」（共著、2007）など多数。緩和医療の分野で医療者だけでなく一般の方々への啓発活動にも力を入れており、医療現場での実践に基づいた講演や執筆活動を精力的に行っている。



いちのせ かつみ先生

ファイナンシャル・プランナー、生活経済ジャーナリスト
大学卒業後、会計事務所に入所し、税務経理や人材育成を中心としたコンサルタントとして活躍。平成元年に日本ファイナンシャル・プランナーズ協会「ファイナンシャル・プランナー」の認定を受け、平成6年にCFP®を取得。家計からみた人生設計の考え方に関しては第一人者で、大阪では数少ない新進気鋭のジャーナリストである。平成15年には、自転車金融教育普及のためのボランティアセミナーを行いながら日本列島を縦断。現在、テレビやラジオに出演する一方、講演会やセミナー、執筆活動など多方面で活躍中。

私たちと縁のあるあなたを特別にご招待いたします▶



ENDING DESIGN

人生の終焉をデザインする

医療デザインサミット2025 in 東大阪



公式サイト

2025年11月9日（日）10:00～18:00

大阪樟蔭女子大学 〒577-0807 東大阪市菱屋西4-2-26

主催：一般社団法人 日本医療デザインセンター

特別協力：東大阪プロジェクト

後援：大阪樟蔭女子大学、東大阪市